

令和4年3月29日開催

**令和3年度第2回上越市博物館協議会資料
(水族博物館)**

令和4年度事業計画(案)について

..... 1～7頁

上越市立水族博物館 令和4年度事業計画（案）

1 運営計画

(1) 運営期間の設定

想定する入館者数の変動に応じ、令和4年度については、以下のとおり期間を設定し運営計画を定める。

区 分	期 間
通常期間	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月1日から令和4年7月15日まで ・令和4年8月29日から令和5年3月31日まで ※繁忙期間を除く
夏休み期間	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月16日から令和4年8月28日まで ※繁忙期間を除く
繁忙期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク期間：令和4年4月29日から令和4年5月8日まで ・お盆期間：令和4年8月11日から令和4年8月16日まで ・9月の3連休：令和4年9月17日から令和4年9月19日まで 令和4年9月23日から令和4年9月25日まで ・10月の3連休：令和4年10月8日から令和4年10月10日まで

(2) 開館日及び開館時間の設定

ア 開館日

原則として年中無休とし、定期的な休館日は設けない。

ただし、下記の日程で施設メンテナンスのための臨時休館を実施する。

- ・令和4年1月11日、12日
- ・令和4年2月15日、16日

イ 開館時間

上越市立水族博物館条例に基づき※、開館時間を入館者動向や展示効果の向上などを考慮した時間帯に設定する。

※第9条 水族博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、指定管理者は、教育委員会の承認を得てこれを変更することができる。

期 間	開館時刻	閉館時刻
通常期間	午前10時 ※1	午後5時
夏休み期間	午前9時	午後7時 ※2
繁忙期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク期間 ・夏休み期間 	午後7時 ※2
	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の3連休 ・10月の3連休 	午後6時 ※3

※1 実績では、当該期間においては午前9時から午前10時までの入館者が少ないため、開館時刻を午前10時に設定し、効率的な運営を図る。

※2 ゴールデンウィーク及び夏休み期間の混雑緩和のため、閉館時刻を午後7時に設定する。

※3 9月及び10月の3連休の混雑緩和のため、閉館時刻を午後6時に設定する。

2 展示計画

開館5年目を迎える中、展示内容の更なる魅力向上を図るとともに適宜情報発信を行い、水生生物や自然環境に対する興味の誘引や理解の促進に努める。

(1) 魚類

展示コーナーの改編や水槽の増設、季節に合わせた展示内容の変更を行い、より満足度の高い展示を目指す。

また、前年度に引き続き、新規生物の展示についても注力する。

(2) 海獣類

演習展示をとおして、鯨類が高い知的能力や運動能力を有することを紹介するとともに、常設展示においても生物の有する特性を紹介する行動展示を実施する。

また、演習展示の内容を季節によって変更することで、鯨類に関するより多くの情報を発信する。

なお、鯨類の飼育展示については、上越市立水族博物館鯨類飼育環境検証委員会の検証結果を踏まえた取組を引き続き実施する。

(3) マゼランペンギン

展示空間や多数飼育の優位性をいかすとともに、生物本来の魅力を引き出す行動展示にも注力し、より一層の魅力向上を図る。

また、準絶滅危惧種であるマゼランペンギンの生息域外重要繁殖地として、策定した方針に基づき保全活動を展開するとともに、展示を通し野生生物や自然環境の保全に対する更なる興味や理解を促す。

(4) 特別展・企画展

区分	概要
特別展	<ul style="list-style-type: none">・催事ホールにおいて、特定のテーマに基づいた生体、標本、写真等資料の展示を行い、常設展示では伝えることが困難な情報を提供することにより、水生生物や自然環境についてより深く学んでもらう。・年2回(初夏・秋)実施予定
企画展	<ul style="list-style-type: none">・館内各所において、季節や年中行事、催事、水生生物に関する自然界での出来事などをテーマとした生体、標本、写真等資料の展示を行い、水生生物と人間とのかかわりを学んでもらうほか、珍しい水生生物の来遊や捕獲などに関する情報を適時発信する。・年間3~4回実施予定

(5) マンスリー水槽の設置

月単位で展示替えを行うマンスリー水槽を設置し、学習機会の増加と地域活性化、話題創出を図る。

※全12回予定

3 教育普及事業

前年度に引き続き、入館者の学習欲求に応えるためのプログラムを実施し、水生生物に関する情報を提供する施設として環境教育や情操教育に取り組む。

また、小中学校と連携し、教育的配慮のもとにプログラムを実施し、水生生物や自然環境について学んでもらう。

(1) 一般対象（個人）

プログラム	概要
バックヤードツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員又は飼育担当職員が水族博物館のバックヤードを案内しながら施設や設備について解説を行い、水族館の施設や設備に対する来館者の興味や知的好奇心に応えるとともに、自然環境を再現するための工夫や自然の仕組みについて理解を促し、ひいては環境保全の重要性を啓発する。 ・実施日：2回/日 ・所要時間：約30分 ・対象：小学校1年生以上 ・定員：1回10人まで
参加型体験プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな年齢層の入館者を対象としたワークショップを実施し、水生生物や自然環境に対し、さらなる理解を促す。 ・実施日：土休日及び学校長期休暇期間での実施を予定 ・対象：小学生以上 ※プログラムにより異なる。 ・定員：10～20人まで ※プログラムにより異なる。
環境学習プログラム 「エコもっとFree」	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsへの理解促進及び環境保全推進のため、広く一般から参加者を募り、周辺海岸の清掃を行うとともに、海洋ゴミに関するレクチャーを行う。 ・実施日：毎月第一日曜日 ※5～10月 ・所要時間：約30分間 ・対象・定員：なし

(2) 一般対象（団体）

プログラム	概要
バックヤードツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員又は飼育担当職員が水族博物館のバックヤードを案内しながら、教育的配慮のもとに飼育・展示施設や設備について解説を行い、水生生物に対する更なる理解を促すことにより、理科教育や生物教育の充実に資する。 ・所要時間：約30分 ・対象：小学校1年生以上 ・定員：1グループ10人まで（1回3グループまで受入可）

リモートバックヤードツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍への対応として、館内に設置したモニターを通してバックヤードを紹介する。 ・安全性確保の観点から、通常のバックヤードツアーでは紹介できない施設や設備についても紹介する。 ・所要時間：約 30 分 ・対象：小学校 1 年生以上 ・定員：1 回 50 人まで
館内ガイドツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員又は飼育担当職員が教育的配慮のもとに展示生物の生理や生態などについて解説を行い、水生生物に対する更なる理解を促すことにより、理科教育や生物教育の充実に資する。 ・所要時間：約 30 分 ・対象：小学校 1 年生以上 ・定員：1 グループ 10 人まで（1 回 3 グループまで受入可）
レクチャー	<ul style="list-style-type: none"> ・イルカスタジアムにおいて水族館や水生生物に関する事項をテーマとした講義を行い、水生生物や自然環境への理解を促すことにより、理科教育や生物教育の充実に資する。 ・所要時間：最長 1 時間 ・対象：小学校 1 年生以上 ・定員：1 団体 100 人まで

(3) 学校団体対象

プログラム	概要
バックヤードツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員又は飼育担当職員が水族博物館のバックヤードを案内しながら、教育的配慮のもとに飼育・展示施設や設備について解説を行い、水生生物に対する更なる理解を促すことにより、理科教育や生物教育の充実に資する。 ・実施日：学校の長期休暇期間を除く平日 ・所要時間：約 30 分 ・対象：小学校 1 年生以上 ・定員：1 グループ 10 人まで（1 回 3 グループまで受入可）
リモートバックヤードツアー（施設⇄屋台会館）	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍への対応として、水族博物館と屋台会館をオンラインで結び、リモートでのバックヤードツアーを実施する。 ・安全性確保の観点から、通常のバックヤードツアーでは紹介できない施設や設備についても紹介する。 ・実施日：学校の長期休暇期間を除く平日 ・所要時間：約 30 分 ・対象：小学校 1 年生以上 ・定員：1 回 50 人まで

リモートバックヤードツアー（施設⇔学校）	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍への対応とともに、水族博物館利用後のフォローアップを図るため、水族博物館と学校をオンラインで結び、バックヤードを紹介しながら質疑応答などを行う。 ・実施日：学校の長期休暇期間を除く平日 ・所要時間：約 30 分 ・対象：小学校 1 年生以上
館内ガイドツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員又は飼育担当職員が教育的配慮のもとに展示生物の生理や生態などについて解説を行い、水生生物に対する更なる理解を促すことにより、理科教育や生物教育の充実に資する。 ・実施日：学校の長期休暇期間を除く平日 ・所要時間：約 30 分 ・対象：小学校 1 年生以上 ・定員：1 グループ 10 人まで（1 回 3 グループまで受入可）
レクチャー	<ul style="list-style-type: none"> ・イルカスタジアムにおいて水族館や水生生物に関する事項をテーマとした講義を行い、水生生物や自然環境への理解を促すことにより、理科教育や生物教育の充実に資する。 ・実施日：学校の長期休暇期間を除く平日 ・所要時間：最長 1 時間 ・対象：小学校 1 年生以上 ・定員：1 団体 100 人まで
職業体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育担当職員又は運営担当職員の指導のもと、水族博物館の業務を実際に体験することで、水族博物館の実務や社会的役割などへの理解を促し、社会科教育や進路指導の充実に資する。 ・実施日：学校の長期休暇期間を除く平日 ※上越市「ゆめ」チャレンジ事業は、長期休暇期間でも受入れ可 ・所要時間：最長 8 時間 ・対象：小学校 5 年生以上 ・定員：1 日 4 人まで
職業インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> ・館内各所において、実際に業務を行っている飼育担当職員や運営担当職員との質疑応答により、水族博物館の実務や社会的役割などへの理解を促し社会科教育や進路指導の充実に資する。 ・実施日：学校の長期休暇期間を除く平日 ・所要時間：最長 1 時間 ・対象：上越市内小学校 5 年生以上 ・定員：1 日 10 人まで
出張授業	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員や飼育担当職員が学校に出向き、標本や映像資料、活魚輸送車で運んだ生体資料などを教材とした、水族博物館ならではの授業を行う。 ・実施日：学校の長期休暇期間を除く平日 ・所要時間：約 45～90 分 ・対象：小学校 3 年生以上

環境学習プログラム 「エコもっと」	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs への理解促進のため、周辺海岸の清掃を行うとともに、直江津屋台会館を利用し海洋ゴミに関するレクチャーを行う。 ・実施日：学校の長期休暇期間を除く平日 ・所要時間：約1時間 ・対象：小学校3年生以上 ・定員：50名
----------------------	---

(4) その他

プログラム	概要
謙信 KIDS プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市教育委員会 社会教育課が実施するプログラムに、水族博物館として参画、協力する。上越市内の小学生を対象とした海と水生生物に関する学習プログラムや、ワークショップを実施し、水生生物や自然環境に対する理解を促す。 ・詳細については、今後、担当課と検討、協議を行う。

4 調査研究

(1) 新規生物の導入、飼育困難生物の長期飼育

新規生物の展示導入、飼育が困難な生物の長期飼育に取り組む。

生物	概要
サクラダンゴウオ	近年、新種として発表された日本海産のサクラダンゴウオについて、継続して飼育、繁殖に取り組むとともに、水族博物館のブランド生物化を目指し、随時話題提供を行っていく。
深海性魚類	立地特性をいかし、冬～春にかけて入手が可能となる様々な深海性魚類の展示及び長期飼育・繁殖に取り組む。
マンボウ	初夏期の太平洋側産個体及び冬期の日本海側産個体の採集、搬入、飼育、展示に取り組む。国内各施設の協力を得ながら長期飼育方法の確立を目指す。

(2) 繁殖

下記生物の繁殖計画を策定し、繁殖に取り組む。

生物	概要
マゼランペンギン	繁殖計画に基づき、計画的に繁殖を進めるとともに、他施設との個体交換などによる血統管理についても推進していく。
バンドウイルカ	繁殖計画を策定し、計画的な繁殖に取り組む。
各種魚類	希少種や繁殖技術が確立されていない生物など、重点生物を設定し、繁殖に取り組む。

(3) 研究発表

過去4年間の飼育管理や採集調査等で得られた知見を調査研究結果として取りまとめ、関係機

関や関係団体の研究会等での発表を行う。

【主な調査研究】

- ・リモートシステムを活用した新たな教育普及活動について
- ・マゼランペンギンの繁殖について
- ・採集調査で得られた新種、未記載種について

5 情報発信

公式HP、情報誌「うみがたり」、SNS、新聞広告などの媒体や市内外で行われる行事等との連携などを通して効果的な情報発信を行い、入館促進を図る。

6 施設・設備の機能向上

水族博物館の魅力をより一層高めるための展示解説の充実や飼育展示設備の機能向上に取り組む。

【主な取組】

項目	内容
展示解説板増設	展示解説の充実により、入館者のニーズに応えるとともに、学習効果の向上を図るため、内照式の解説板を作製し、設置する。
マゼランペンギンミュージアム整備	飼育展示環境の向上を図るために、マゼランペンギンミュージアムの土壌入替（一部を玉砂利に変更）を実施する。

7 コロナ禍対応

コロナ禍については、現在も先行きの見通せない状況にあり、令和4年度においても水族博物館の管理運営への影響が続くことが懸念される。このような中、状況に応じた感染症拡大防止策を実施するとともに、事業の内容変更や実施について柔軟な対応を図っていく。